

生活・自立支援キャンプ事業 子ども生き生き体験学習①

- 1 趣 旨 母子生活支援施設で生活する子供たちを対象に、自然体験及び生活体験の活動を通して生活・自立を支援するとともに、子供たちの基本的な生活習慣の確立を目指す。
- 2 期 日 令和元年7月26日（金）～27日（土）1泊2日
- 3 対 象 者 母子生活支援施設で生活する小・中学生
- 4 募集定員 なし
- 5 参 加 者 8人（小学生5人 中学生1人 施設指導者2人）
- 6 指 導 者 国立大隅青少年自然の家職員
- 7 日 程

7月26日（金）	7月27日（土）
11:30 出合いのつどい	6:30 起床・清掃
12:00 昼食	7:20 朝のつどい・ラジオ体操
13:00 沢登り・沢遊び・水中観察	8:00 朝食
17:00 夕食作り（バーベキュー）	9:00 草スキー
20:00 星空観察	10:00 漁船乗船体験・カンパチ餌やり体験 （垂水市漁業協同組合と連携）
21:00 就寝	12:00 昼食
	13:00 別れのつどい

8 事業運営上の配慮

- （1）体験格差の解消を目指し、自然体験や外部機関と連携した活動を積極的に取り入れた。
- （2）夏休み期間は生活のリズムが崩れやすいことから、21時就寝、6時30分起床、8時朝食といったプログラムを組み、早寝・早起・朝ごはん運動の一助とした。



9 参加者の感想

- 子供たちが今まで体験したことのない活動ができて大変満足しました。みんなで協力して頑張る姿を見ることができて感動しました。2日間本当にありがとうございました。
- 楽しかったことは沢登りです。理由は岩で足元が悪かったけどそこを乗り越えたからです。また来たいと思いました。2日間ありがとうございました。
- 沢遊びで魚を見つけて獲ったりつかんだりしたことや、夜の野外炊飯でみんなと協力して作ったことが心に残りました。



10 成 果

- 沢登りや水中観察などの野外活動を通して、参加者は自然に触れ合うとともに、足元が悪い中を乗り越えて到着したことに大きな自信をもった。
- 野外炊飯はみんなで協力して準備できたことから、協調性の涵養につながった。

